

沖縄県名護市屋部の手踊りエイサー(1)

小林 公 江

(教育学科教授)

小林 幸 男

(京都教育大学名誉教授)

はじめに

沖縄の盆を彩るエイサーは、念仏歌を核に、それぞれの時代の多様な歌や踊りを取り込みながら、大きく成長してきた芸能である。現在は、太鼓衆が太太鼓と締太鼓、半打鼓などを打ちつつ勇壮に踊るエイサー（太鼓エイサー）が沖縄に限らず全国的に広がっているが、沖縄本島北部の名護市西部・本部町・今帰仁村・大宜味村・国頭村などでは古い形を残す手踊り中心のエイサー（手踊りエイサー）の伝承も多い。

沖縄本島北部最大の都市である名護市でも、かつてはほとんどの集落が手踊りエイサーを伝承していた。しかし、芸能の途絶や青年達の太鼓エイサーへの憧れなどから、近年、新たに太鼓エイサーを導入する集落が増え、その結果、青年達が集落のあちこちを廻ってエイサーを行う伝統的な形で手踊りエイサーを行う集落はかなり少なくなっている。

名護市西部の屋部^{やぶ}は、そうした伝統的な形を残しながら手踊りエイサーを伝承している集落の一つで、戦前戦後にわたって様々な曲の導入や改廃、踊りの工夫を行いながら芸能を伝承してきた。現行のエイサーは、1987年に当時の青年会が過去の複数のテキストや実際の演奏を基に、『琉歌全集』²や『聲楽譜附野村流工四』³等も参考にして一節ずつ検討を加えて編集した画期的な歌詞集に基づいている。これには本調子^{いちに あき}24と一二揚^い6の計30曲が掲載されている。

しかし、近年、このうちの一二揚の曲が行われなくなり、踊り手衆の囃しや歌が曖昧になってきた。このため、筆者はかねてからかつての青年達、即ち現在の壮年層を中心とした人々に

よる歌と踊りの記録作成を屋部に提案してきた。2008年度、ようやくその計画が実を結び、エイサーに関する聞き取りと試演、録音や録画の記録が実現した。

本稿ではその記録に基づき、楽譜資料・歌詞資料・屋部エイサーの変遷の3点について報告するが、紙幅の関係で今回は楽譜資料のみを載せることとする。

1. 屋部エイサーの伝承曲

レパートリイを、1987年の歌詞集を基に、部分的に仮名遣いや漢字表記に変更を加えて記しておく。また、必要に応じ、一般的に見られる曲名も《 》で併記する。

本調子

1. 打ち囃す鼓…《唐船どーい》
う はや ちりみ とーしん
2. 久高万寿主
く だかまんじゅーすー
3. ドンドン節…《作たる米》
ちやく めー
4. テンヨー節 5. エイサー節…《念仏》
いにしり らー
6. 稲摺節 7. 越来節 8. 今帰仁ぬ城
いんしり らー な ち じん ぐく
9. めでたい節 10. 鳩間節 11. 伊計離節
いとうまんちりー
12. 苺小節…《糸満人》と《苺小節》
いちめびくろー
13. 名護ぬ浦節 14. ヘイヨースラヨー
な ぐ うら
15. 南獄節 16. 若夏の訪れ
なんだき わかなつ おとず
17. ゼイサー節（砂持節）
しなもち
18. スライサ（スーリ東節）
あがり
19. イマデイスナ節…《ダンスナー節》
うみ らー
20. 海やから節
うみ らー
21. 雨降らすなやう…《三村節》
アミ フ ラ ス ナ ヨー み くら
22. ピラルラー（二合節）
ニンゴー
23. ハイニ才達節
ニセーター

一二揚

24. 談合節…《ダンク節》《ダンコ節》
25. 仲座兄 26. 六角堂 27. 海ぬ釣法螺
28. スラサエスラ…《下庫裡小》
29. ハラドンドンセー (十七八節)

本調子

30. 唐船どーい

2. 収集資料

今回の資料化には下記の録画、録音を用いた。

・録画…担当：小林幸男

1. 1996年8月27, 28日 屋部の集落各所
エイサーの実況 屋部青年会
2. 1999年8月18日 屋部公民館前の広場
エイサーの練習 屋部青年会
3. 2002年8月22, 23日 屋部の集落各所
エイサーの実況 屋部青年会
4. 2007年8月27日 屋部の集落各所
エイサーの実況 屋部青年会
5. 2009年3月23, 25, 30日 屋部公民館
エイサーの練習・試演 屋部の壮年・青年
6. 2009年8月29日 宇茂佐～みどり街
エイサーの実況 (外回り) 屋部青年会

機材：1. Kyocera KX-H6 (Hi8), Sony ME120
2. 3. Sony DCR-VX1000, Sony DVM60
4. 5. Sony HDR-FX1, TDK ME DVM63
6. Sony HDR-FX1000, Sony HDR-HC1,
ME DVM63

・録音…担当：小林公江 (2. 小林幸男)

1. 録画1に同じ
2. 2008年11月4日 屋部公民館
歌の練習 演唱：比嘉繁梨 他
3. 録画5に同じ
練習・試演 演唱：比嘉繁梨・比嘉義行 他
4. 屋部区で録音したテープ

機材：1. Sony TCD-D8 (DAT), ECM-959A
2. 3. Sony MZ-RH1 (HiMD), ECM-MS957

3. 屋部エイサーの楽譜

楽譜は、2009年3月のエイサー試演を中心に作成した。基本的な歌い方を探る一方で、収録した音はできるだけ記すようにしたが、歌い手

は歌詞の一部や旋律への歌詞の当て方、細かな節回しを時に応じて自在に変化させるので、実際の演奏は楽譜よりかなり多様である。

凡例

- ・本調子、一二揚とも1オクターブと短2度高く高音部譜表に記している。
- ・歌詞欄の〈 〉は、踊り手の歌唱部分である。
- ・上下になった音符に数字が付してある場合は該当番数での歌い方を示し、付していない場合はその時々々のさまざまな歌い方を示す。
- ・() 内の音は頻度が高くないものである。
- ・歌詞欄の矢印は、その部分が拍ごと省略されることを示している。
- ・記譜上は拍の頭から始まる部分が半拍追い込まれたり、あるいはその逆になったりする場合は▲を音符の下に記した。
- ・歌詞欄に●を記し、該当歌詞ではそこが休符になることを示した。
- ・採譜は小林公江が行い、小林幸男が校閲した。

謝辞

エイサーや行事について多くのことをお教え下さり、また、快く録音・録画や行事を取材させて下さいました屋部の壮年・古老の皆様、青年会の皆様に心より御礼申し上げます。

文献

名護市屋部青年会作成の歌詞資料 (1987)

註

1. 屋部は、1946年に周辺の字とともに屋部村として名護町から独立したが、1970年に名護町・羽地村・久志村・屋我地村と合併し、名護市の一部となった。
2. 島袋盛敏・翁長俊郎『標音評訳 琉歌全集』武蔵野書院、1968年
3. 伊差川世瑞・世礼国男『聲楽譜附野村流工四』全4巻 野村流音楽協会、1935-41年初版
4. この記録は科学研究費補助 (20520128) を受けて行われたものである。

1. 打ち囃す鼓

$\text{♩} = 96$



*1 スリスリ メデタイ (カリユシメデタイ) サ サーサ サ (カリユシカリユシ)

1. サ - - - う ち は - や す - ち ぢ み - う ち う -
2. サ - - - ゆ た か - な る - み ゆ ん - し る し -

と う - ん - な か り に - (ハ ラ ユ - ヒ ガ - ネ) ゆ が - ふ - ど う
あ - ら - わ り て い - (ハ ラ ユ - ヒ ガ - ネ) あ み - ち - ゆ

二 し - 二 ち - ぢ く - サ う に - げ - さ - 二 - び - ら
二 ん - 二 み - ぐ み - サ と う ち - ん - た - 二 - が - ん

1. 2. <ハ イ ヤ セ ン ヨ - *2 シ ト ウ リ ト ウ ナ カ リ ユ シ カ リ ユ シ)

*1 この部分は何度も繰り返される。

*2 「シトゥリトゥナ」は「ウチウチュナ」と歌われることもある。

♪ は ♪ に近い

備考 「打ち囃す鼓」は終曲《唐船どい》と同系旋律で、《唐船どい》で琉歌の短歌(8.8.8.6)を歌う場合は、本曲と同様の旋律で、テンポのみ速くなる。終曲の楽譜では音数律が琉歌の短歌とは異なり、歌詞の旋律への当たり方が異なるものについてのみ掲載した

2. 久高万寿主

$\text{♩} = 47$



*1 スリ サ スリ <エイスリサ サ スリ ハイ> 1. く - だ - か - まん じゅ - す - や -
2. わっ た - が - わ - まん じゅ - え - だ -
3. ちん ち し れ - う - ふ あ - や - ちん ち ち
4. むん し み れ - な ん ち ち く が ら ち

<サーサー スリ> つら ゆ - べ - *2 か め て い ち ゅ ん ど - - <ヨ タ マ - ーク ガ - 二
<サーサー スリ> す り な - ふ あ ん - た ち ち み - ち ち - <ヨ タ マ - ーク ガ - 二
<サーサー スリ> さ ば ふ ま せ - な ぎ な た さ ば く で い - <ヨ ジ ン ブ - ン ク サ - ラ
<サーサー スリ> あ じ し み れ - な な け ん あ じ し ち - <ヨ ジ ン ブ - ン ク サ - ラ

1-4. ク ユ イ ヌ ハ ナ シ ヌ *3 ク ム ツ サ スリサ サ エイスリサ サ スリ ハイ)

*1 歌詞集では「スリサーサー」となっているが、収録ではいずれも「スリサースリ」であった。

*2 「とうめーい」と歌われることもある。

*3 「クームツサ」を「ウームツサ」と歌ったり、この二種の囃しを交互に歌ったりして変化をつける場合がある。

3. ドンドン節

$\text{♩} = 48$

ティー ユル シワドン ドン 〈ア カ イ ク ニ ナンダイ スリ ハイ〉

1. くとうーしー ーちゆく た る ーめ ーや 〈しーしだ まー
1R. にしーか ーじぬ ふ ふ ーか ーば 〈まふえぬ あ ぶし

ー*まいぬぐ とうー エイスリサ サ スリサ サ スリ ハイ〉
あぶしまく らー エイスリサ サ スリサ サ スリ ハイ〉

*「まい」は歌詞集では「まゆ」となっている。たいていは「まい」と歌われる。

4. テンヨー節

$\text{♩} = 93$

テン ヨー テン ヨ シトウリトウ テンササ 〈ハー*ラ ヨーハラ ユーヒガ

ネ イヤササ) 1. にわぬ ーく ば ー ー が し にーサヨ
1R. たまた ーが き ー ー さ どう にーサヨ

さがてい しーり はーべ るー 〈テンヨー テンヨ シトウリトウ
うちふ りーてい いーちゅ なー 〈テンヨー テンヨ シトウリトウ

1. 1R. テンササ ハー*ラ ヨーハラ ユーヒガ ネ イヤササ)

* 歌詞集は「ル」と表記されており、「ル」と歌うこともある。

♪ は ♩ に近い

5. エイサー節

$\text{♩} = 96$

エイサ エイサー 〈ヒチグワチ エイサ ーースリサ サ イヤササ)

1. ひち ーぐわ ちー たな ーば たー なーん かーぬ とう か
1R. ひち ーぐわ ちー ぬぶ ーん にーや ーん ーる にーう とり てい

1. 1R. 〈エイサ エイサー ヒチグワチ エイサ ーースリサ サ イヤササ)

* ここは「ヒヤルガ」と歌われることもある。

♪ は ♩ に近い

6. 榴指節

$\text{♩} = 90$



イニシリ シー アウユリ ユリ <ア ウヌン ユラリミ クミヌドウ ユラリル
スーリ ササ イヤササ> 1. なんじゃ うーす なーか ーい ーく が
1R. はかてい むーてい あーま ーす ーゆ ち
ーに じーく たーていー てい <イニシリ シーリー アウユリ ユーリー
ーぬ ゆちぬ まーぐー み <ウネマタ ウネササ *アネマタ ウリササ
アウヌン ユラリミ クミヌドウ ユラリル スーリ ササ イヤササ>
スーリ ササ イヤササ

*「アネマタ アネササ」という歌い方もあったという。

♪は ♩ に近い

7. 越来節

$\text{♩} = 90$



ユヤーサーセー ルーグトウ ヤー<イサ ソイソイ ソイ イヤササ>
1. ぐい く ヨー まちーり ーに ーあ た る ぐー とぅ てい ぐ
2. ゆー な びー やがーま ーや ーとう た ん み ぐー てい み や
二くら さび 二二二 とう に ー がん せう る 二く とう やに 二
<ユヤーサーセー ルーグトウ ーヤーイサ ソイソイ ソイ イヤササ>
<ユヤーサーウー ルーウチー ニーイサ ソイソイ ソイ イヤササ>

8. 今帰仁ぬ城

$\text{♩} = 78$



サ ヒヤルガ ヘイ<ササ ヒヤルガ ヘイ> 1. な ち じ んーぬー ーぐしー く
1R. し ぎ ま ーうとうー ーだるー が
し む な い ーぬー ーくにー ぶ <サ ヒヤルガ ヘイササ ヒヤルガ ヘイ>
ぬ ち ゃ い ーマ ター ーは ーちゃ い <サ ヒヤルガ ヘイササ ヒヤルガ ヘイ>

9. めでたい節

$\text{♩} = 93$



スリスリ メデタイ <カリユシ メデタイ> 1. や ぶ む ーら やー ぐ ま さ し
2. く と う し ーむ ち ぬー く ーいー



ーがー ちむあ わ ちー ーするー てい ちく る ーむ ちゅー
 ーやー あんち ちら さー ーゆかー てい くらに ーち んー
 ーくー いーとうー ーくサン サー とうむに ーさ かーら メ デ タ
 ーあー まーちー ーくサン サー ま ちん ーしゃ びーら メ デ タ
 1.2. ー ー イ メ デ タ ー ー イ スリ スリ メ デ タイ カリ ユ シ メ デ タイ
 ♪は ♪に近い

10. 鳩間節



♪=96
 * サ ノ ユ イ サ 〈シタリガ ユイサ〉 1. はー とうー まー な かり
 2. はー ー いー しゃー ーむ かり
 ーむ りー は いー ぬ ぶー てい ーくサ ノ ユ イ サ〉 くー
 ーた るー ーむ いー ぬ ぶー ーば ーくサ ノ ユ イ サ〉 つー
 ばー ぬー ーしー ーちや うー ーてい ーは いー ぬ ぶー てい
 ーらー さー ーさー ーし たー ーる ーちー ーちー ぬ ぶー ーば
 1.2. 〈ハ イ ヤー ヨー ティ バ カ イー ダー ーキ
 ー ティ トウ ユール デ ン ヨ ー マ サ
 ー ティ ー ミ グ ー トウ ー) サ ノ ユ イ サ 〈シタリガ ユイサ〉

* ここは「サーノユイサ 〈シタリヌユイサ〉」「サーサユイサ 〈シタリガユイサ〉」と変化をつけることもある。 ♪は ♪に近い

11. 伊計離節



♪=88
 イ サ ソ イ ソ イ ソ イ 〈イ サ ソ イ ソ イ ソ イ〉 1. いー ばー ー ー ー い ちー ヨー
 2. へんー ざー ー ー ー ー み やー ヨー
 ーは なー りー ー ー ー ヨー ハー ー りー ーむー どうー ー ー すー ー
 ーら びー ぬー ー ー ー ヨー ハー ー りー ーふー ーしゃー ーむ ぬー
 ーばまー ーへんー ざー 〈ハ イ ヨー ー シュラー ヨー〉 イ サ ソ イ ソ イ ソ イ 〈イ サ ソ イ ソ イ ソ イ〉
 やー ハリ ぬー やが ヤ 〈ハ イ ヨー ー シュラー ヨー〉 イ サ ソ イ ソ イ ソ イ 〈イ サ ソ イ ソ イ ソ イ〉

12. 莓小節1

$\text{♩} = 93$

カミティ ガ マク 〈イ チュイ チュイ チュイ〉 カミティ ガー マク 〈イ チュイ チュイチュイ〉

いとうまん ーちゅ ー いとうまん ーちゅ ぬ ゆみなり ー ば いらぶち さしみん んなうり

ーしゃー び ー ら 〈いらぶち さしみん ーカミティ ガ マク イチュイ チュイチュイ〉

莓小節2

かーぎ ーぐわぬ ー あん でい ち ーじまん ーすみ ーあー ば ぐわ

〈かーぎ ぐわ や ーかわどう やつ さい ちむち でーいち ど わつ たー

くく ん ひらっ てい しり こーり ちっ ばん あましよー が〉 イマ チョイナ

〈ウネ サンジン イヤササ〉 いちゅび ーぐわに ーふ ーり てい ーやまち ーばる

ーか ーゆ てい 〈かゆ てい ーみじら さ や ーちなぬ ーばん ず

ウムヤガ チョンチョン カナシガ チョンイマ チョイナ 〈ウネ サンジン イヤササ〉

13. 名護ぬ浦節

$\text{♩} = 68$

ユ シ ヨ ユ シ ム ーて ー さ ー か いさ 〈ユ シ ヨ ユ シ

ユ シ ヨ ユ シ ム ーて ー ぢゅ ー ら いさ 〈ユ シ ヨ ユ シ

む ーて ー ぢゅ ー ら さ) 1. だ んじゅ とら ゆ ま り る ー な ぐ ー

む ーて ー さ ー か い) 2. だ んじゅ とら ゆ ま り る ー な ぐ ー

ー ぬ ば ん ふ どう ー か る さ 〈ス リ ま ち ough が ぢ ま る ぬ ー

ー ら ぬ ー

む ーて ー さ ー か い ユ シ ヨ ユ シ ム ーて ー ぢゅ ー ら さ) 1. だ んじゅ とら ゆ ま り る ー な ぐ ー

う ーむ い ふ ー か い ユ シ ヨ ユ シ ム ーて ー ぢゅ ー ら さ) 2. だ んじゅ とら ゆ ま り る ー な ぐ ー

14. ハイヨースラヨー

* b(変口)音は概ね高めである。

[illegible]

15.南嶽節

♩ = 93

ナンダキブ シヤ ウムシルムン イチドウヤ ウドウラバ ムタシミ セミ
〈ナンダキブ シヤ ウムシルムン〉 〈ニードウヤ ウドウラバ ムタスン テ〉

1. うちな ら し な ら し ヨ サーサー ゆー ち だ き
1R. ならす ゆー ち だ き ぬ ヨ サーサー うー とう ぬ ちゆー

ー わ な ら ち ヨ サーサー 〈スラ ヨ イ スラ ヨ イ キ
ー ら ちゆー ら さ ヨ サーサー 〈スラ ヨ イ スラ ヨ イ キ

1. 1R. ユ ア シ ブー ナン ダーキ ヨー ナンダキブ シヤ ウムシルムン

16. 若夏の訪れ

♪ は ♪ に近い

♩ = 75

サ イ ヤ サ ノ サ (サ イ ヤ サ ノ サ) 1. わ かに なが つた の お
サ イ ヤ サ ノ サ (サ イ ヤ サ ノ サ) 3. べし に ま の たつ の き あ

と る ず れ (サ イ ヤ サ ノ サ) は え か
ろ か も る よく (サ イ ヤ サ ノ サ) は は な ま お
お め り る の い た な だ よ (サ イ ヤ サ ノ サ) イ ヤ サ ノ サ
り の て う た も とう よ (サ イ ヤ サ ノ サ) イ ヤ サ ノ サ

♩ = 88

ゆ ー た か な ー る ー が ね の な み お ど る よ し (オ
さ ふ お し ら ー の ー ど い く の が た う し う く し と オ
よ ふ お し ら ー の ー ど い く の が た う し う く し と オ

ー オ オ ド ド サ サ オ オ ド ド レ レ ヤ ヤ
ー オ オ ド ド サ サ オ オ ド ド レ レ ヤ ヤ
ー オ オ ド ド サ サ オ オ ド ド レ レ ヤ ヤ
ー オ オ ド ド サ サ オ オ ド ド レ レ ヤ ヤ

17. ゼイサー(砂持)節

* テンポは、囃しの「ゼイサー」の部分だけ僅かに速めになる。

$\text{♩} = 64$

ゼイサゼイサ ゼイサ <ゼイサゼイサ ゼイサ> 1. あらぬーはまし なーやーー むてい
2. はるやーはんた ばーるーー みち

ーーー ばーち ぢら りーてい <ゼイサゼイサ ゼイサ> たんーーでいーいりどう
ーーー やーく びり みーち <ゼイサゼイサ ゼイサ> うむゆーー → ーーらば

ー まいいーヨーー む たーー ちーた ぼーり <ゼイサゼイサ ゼイサ>
ハイヨ さとうーめー *とう めーー ていーい もーり <ゼイサゼイサ ゼイサ>

*「とうめてい」は「しめてい」と歌われることもある。

18. スライサ(スリ東節)

$\text{♩} = 85$

スライサ <ハイヤ> シマカイ イチュシガ ヤラスミーチャスガ <イチュウドウ
ヤラスナ ヤラチョティ クヤムナ ケスンキャ スンキャスンキャ> 1. スーリ あがりー
1R. しばし まーていー

ニス ニリ ヌニ う ちん か ていニ <スリ スニ リ ヌニ
ニは ニベ ヌニ いー ーや いニ <スリ スニ リ ヌニ

ニあやい ニはびニー ーま スリサ サー スライサ ハイヤ>
ニい やい ニは ぬニー ーま

19. イマデイスナ節

♪は ♩に近い

$\text{♩} = 93$

イーマーデンスーナ <チ ヤリヤリ ヤリ> 1. なん ま ふが
2. なん ぞ ぶが

ー ゆる あみ やーーー ゆー が ふさー あみ や しー が
ー うむ か ち にーーー ひー か さー りてい わ みーや

<わ が うにー ま り じ まくーー ーん ふーい が しやーび
<か が ーにー か う か ーちー ー しーぬでいー ーちゅ

ーらん イーマーデイスーナ チ ヤリヤリ ヤリ> ヤリ>
ーん イーマーデイスーナ チ ヤリヤリ

♪は ♩に近い

20. 海やから節

♩ = 94

ウミヤカ ーラ ドンドン ー(ス リ エイス ー リ ササ エイス ー リ)

1. うみ や か ら ーに ー ふ り てい ー ゆ ぬ あ き ーせ ー し ら ー
2. う や ぬ む たちえる ー う と う や ー りっ ば な ーちゅうらうと う ー や し ー

ん が い ちゃし ー う や ー ーちよ で ーに ー ーへ ん と ーし ゆ ー が
ど う くる ー むつちゅる ー う と う ー や ー く さ り ー な び な ー く

く ウミヤカ ーラ ドンドン ー ス リ エイス ー リ ササ エイス ー リ)
く ウミヤカ ーラ ドンドン ー ス リ エイス ー リ ササ エイス ー リ)

♪は ♩ ♩に近い

21. 雨降らすなよう

♩ = 92

アミフラ スナヨー ムトゥカン ジュンドー 〈サ カリユシ カリユシ イヤササ〉

1. う る く - と う み - ぐ し - く - か ち め は - な と う み - む - ら
2. う い ど う - ま い - と う ま - い - む と う め と う ま い と う み - む - ら

み む ら め あんぐわ た が す り と て い - め め う い - ば な し
み む ら め に せ た が す り と て い - ま す た ち - ば な し

〈アヤ マ ミ グ ナ ヨー ムトゥカン ジュン ドー サ カリユシ カリユシ イヤササ〉
〈アミ フ ラ ス ナ ヨー ムトゥカ ンジュン ドー サ カリユシ カリユシ イヤササ〉

♩は ♩ ♩に近い

22. ピラルラー(二合節)

♩ = 95

ピラルーラーララルラーララ<ニゴドヤニンゴ*ナ イッシュ ニンゴ

ニゴドヤ アッシドヤ イヤササ> 1. いちご ぐわ うた びみ せーらー ーにん ご ぐわ
2. いちご ぐま ーあん しめーやー ーう ごち む

1. うた びみ せらば ーく みてい みぐや び
2. ゆー たさ め ーあ や ぐ ーう た び み せらば ーく みてい みぐや び

1. 2. ら サ ブ エ ン サ ブ エ ン サ サ ブ エ ン ピ ラ ル - ラ - ラ ラ ル
 ラ - ラ - ニ ン ゴ ド ヤ ニ ン ゴ * ナ イ ッ シ ュ ニ ン ゴ ミ ン ゴ ド ヤ ア ッ シ ド ヤ イ ヤ サ サ

* 「ナ イ ッ シ ュ」は「イーツシュ」と歌われることもある。
 ♪は ♪ に近い

23. ハイニ才達節

♩=92
 ハイニセ タ - ナ マドウモ チャン ナ <チュ ユナガトウ - アシビ ディキラサ ヤ>
 ハイアバ グワ - ナ マドウモ チャン ナ <チュ ユナガトウ - アシビ ディキラサ ヤ>

2- な か
 1. ちゅゆや - なに - た - つ - る - ひ ちぐわち め - あ し - び
 2. んぞとう - わが - な - か - や - ま ちぬふあ め - ぐ とう - に

でいちゃよ - う しち り てい - うどてい - あしば ヨ ンゾ ヨ <ハイニセ タ
 うていてい - かりや す ていん たいや - ちゅみち ヨ ンゾ ヨ <ハイニセ タ

- ナ マドウモ チャン ナ チュ ユナガトウ - アシビ ディキラサ ヤ>
 - ナ マドウモ チャン ナ チュ ユナガトウ - アシビ ディキラサ ヤ>

24. だんこう(談合)節

♩=94
 チ ダン コ ヨ - ダン コ <ス リ エ イ ス リ> イ ッ タ ア ン マ イ ナ グ イ <イ ナ グ ヤ ク ト ウ ル
 ウ ン ダ イ チ ン ジ ャ イ ノ タ イ キ シ タ イ> 1. だ ん こ - も い - な ら ゆ ん で い
 2. だ ん こ - も い - い ち ば ん や

な ぐ あ - が り - か ゆ て い ヨ - ヤ - ば ん じ ゅ い し が き - に る
 み じ ゃ が - ば る - か ゆ て い ヨ - ヤ - ま ち り く さ ら す - に る

ち ん し ち り わ て い <チ ダン コ ヨ - ダン コ ス リ エ イ ス リ>
 う ん さ - だ ん こ <チ ダン コ ヨ - ダン コ ス リ エ イ ス リ>

25. 仲座兄

$\text{♩} = 94$

チャ ガ ナ カジャ ヒ 〈ユシ ヨーユシ〉 チャ ガ ナ カジャー ヒ 〈ユシ ヨーユシ〉

1. な か じゃ ひーやー ひーじゃ うわーさ い な ぐ ん ぐわーやー か み て い う り う い
2. な か じゃ ひーがー ーちゅい な ぐ ん ぐわ ーちー ぢ な か み ち は か ま と う ん ぬ が

が ち 〈う ら ら ん た ん ど ー あ ー ん ま し じ て い し る ぬ ま ー い やー や

い な ぐ ん ぐわ ぬ が ち ぢゅー さ ぬ

〈チャ ガ ナ カジャ ヒ サ ラ メー ワ ク〉

26. 六角堂

$\text{♩} = 68$

フ ネ カ ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ 〈フ ネ ス ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ〉
フ ネ ス ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ 〈フ ネ カ ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ〉

1. ろーつか く どーぬー うーらにー ヨー ーさーちゆる ぶーたん ばーなやー ヨ
1R. 〈はーなとう はーなとうーさき ばー ヨー ーぐい んとうーむーてい ヨー ンゾー ヨ〉
2. げん どー ぼーしや わ か さ まー ーちー く ま げ たーぐわーや く む ぢ ぬ め
2R. 〈ちり め ー うーびとう ハ ン カ チーやー ーちる ぐわがーな さ き ヨー ンゾー ヨ〉

1R. フ ネ ス ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ 〈フ ネ カ ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ〉
2R. フ ネ カ ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ 〈フ ネ ス ドウ ナ トウ サ ヨ ー ン ゾー ヨ〉

27. 海ぬ釣法螺

$\text{♩} = 98$

サ キ ヤ ボ ン ボ ン チャ ワ ン シ ヌ ミ ヌ ミ 〈サー マ カ イ シ ヌ ミ ヌ ミ

ウ チ ユ ヌ マ ン ナ カ 1. う み ぬ ち ん ぼ ら がー し た くー さ ゃ ゆ
2. あ が り さ ん さ ぎ ぬー さ ら さー さ ゃ と う

ー と う ん ぬ ぶ て い とー ん み ゆ ん どーや ま と う ん み ゆ ん ど 〈ウ チ ナー
ー ふー か ば あ ち や ま ふ え な て いーふ に ぬ ち ゅ ん ど ？ 〈サ キ ヤ

カ イ ドー ウ チ ユ ヌ マ ン ナ カ サー ウ チ ナー カ イ ドー ウ チ ユ ヌ マ ン ナ カ
ボ ン ボ ン チャ ワ ン シ ヌ ミ ヌ ミ サー マ カ イ シ ヌ ミ ヌ ミ ウ チ ユ ヌ マ ン ナ カ

♩ は ♩ に近い

28. スラサエースラヨ

$\text{♩} = 92$

スラサエースラヨ <ヤリクヌシースラヨ> 1. あたび
2. あちやぬ

-ちやぬむむじしヨンセ -あたび-ちや-ぬ <むむじし
-ゆぬにびきにヨンセ -あちやぬ-ゆ-ぬ <にびきに
-ヨ-いりちどんぶりぐわぬ なかめにいしとてい-かばしやうまさぬ
-ヨ-まくらかきとてい-はなしうむさぬ

1.2. ヨ スラサエースラヨ ヤリクヌシースラヨ

29. ハラドンドンセ(十七八節)

♪は ♩ に近い

$\text{♩} = 94$

ハラドンドンセ <シマウチサンセーウドウーティアシバナ>

1. じゅしち-はちぐる-や -ゆまんぐいどう-まちゆる-ヨ-
2. さとうが-さすかた-な -さやふたち-あゆみ-ヨ-

-くゆんくりていたほ-り わじゆしゃびらハラ
-くとうんたいむちゅ-る くとうやねさみハラ

ドンドンセ シマウチサンセーウドウーティアシバナ
ドンドンセ ヤクシクサンゾヤークーンドウアガヤー

30. 唐船どーい

♪は ♩ に近い

$\text{♩} = 126$

1. サ - としん - どい - さんてまり - いっさん
2. サ - うとうに - どうゆまり - うふむら

-はえ-ならんしや-<ハラユ-ヒガ-ネ> わか-さ-ま
うどうんぬしんだんぎ-<ハラユ-ヒガ-ネ> なは-に-とう

-ち-む-ら ん-サ しなふあぬ -た- -ん- め
-ゆ-ま-り る-サ くむぢぬ -ほ-い がぢまる めぎ

1.2. <ハ イ ヤ セ ン ヨ - シ ト ウ リ ト ウ ナ カ リ ユ シ カ リ ユ シ>